



生涯学習

にいがた

<http://www.lalanet.gr.jp/>

No.84

平成22年7月8日発行

新潟県立

生涯学習推進センター

平成22年度 家庭教育支援事業の為に企画力向上セミナー

行列のできる事業・広報の秘密

～ 思わず手にとるチラシ作り～

6月10日（木）に家庭教育支援の為に企画力向上セミナーを実施しました。今年は「行列のできる事業・広報の秘密」をテーマにチラシ作りの実際について研修を行いました。

今回は応募条件を限定し、①家庭教育支援事業企画者で、②必ず自ら広報のチラシを作り、③2回目の研修会にそのチラシを持ってくるという条件付きの研修会でしたが、県内の家庭教育行政担当者、公民館職員を中心に、定員（40名）を超える44名の応募があり、企画・広報についての担当者の関心の深さが伺えました。

さて、今回の講師は東京都大田区立男女平等推進センター“エセナおおた”の指田祐美（さしだゆみ）さんです。指田さん御自身はアメリカ留学で男女共同参画社会や女性学を学び、帰国後エセナおおたの職員として5年間活躍をされ、事業企画の他イラストなども手がけていらっしゃいます。



まず午前中は、エセナおおたの“実際に行列のできたチラシ”を例に挙げ、企画の意図とチラシの内容、年齢別の申込み方法の工夫などを詳しく教えてもらいました。受講者が自分の経験を思い浮かべ、苦笑いしたのは、人が集まらない講座の言い訳ベスト3です。

- 1 開き直り
- 2 参加者の意識の低さ
- 3 天気のせい

どれも企画者なら一度は考えた事のある言い訳ばかりでした。

手に取ってもらえないチラシは、**資源の無駄！！**と言い切る講師に、受講者全員今までのチラシ作りは、企画力と広報PR力が不足していたということが分かり、反省することばかりでした。



午後からは、企画会議とチラシ作りをグループワークで行い、チラシ作成で使う袋文字の作り方を、実際にコンピュータを操作しながら教えてもらいました。この袋文字は、白黒なのに飛びだして見えます。ワードでの簡単な作成法に、受講者一同、眼からウロコでした。（上記表題がその袋文字）

このセミナーの成果を生かしたチラシが、この夏県内に並ぶことでしょう。

次回11月5日は、受講者作成のチラシを持ち寄り、より良き広報のあり方とさらなるコンピュータの操作法を学びます。

第1回生涯学習職員研修 基礎研修会

6月2・3日の2日間にわたり「生涯学習・社会教育事業への挑戦～はじめの一步から～」をテーマに、生涯学習職員研修「基礎研修会」を実施しました。

第1日目

- (1) 体験発表「私はこうでした！」 魚沼市教育委員会生涯学習室 主事 内田昌登 様
初めて経験した生涯学習の職場での苦勞。講座の企画を通して、学ぶ楽しさとクリエイティブな仕事に魅力があるなどの話。
- (2) 情報交換
5グループに分かれ、自己紹介、発表を聞いての感想、互いの業務についての情報交換。
- (3) 講義「生涯学習と社会教育～生涯学習社会における社会教育の役割～」
県立生涯学習推進センター 所長 松井周之輔
生涯学習社会における社会教育の役割について、生涯学習の考え方・理念や改正教育基本法及び社会教育法の解説も含めて説明。
- (4) 講義・演習「事業の企画及びプログラム作成の視点と手順を習得しよう」
県立生涯学習推進センター学習振興課 副参事 内藤 薫
事業評価を確実に位置づけ「誰のために、何のために」「どのような内容を、どのように組み立て」「どのように実施していくか」を示すことが大切。



第2日目

- (1) 演習「事業の企画及びプログラム作成しよう」
家庭教育・青少年教育・成人教育・高齢者教育の4グループに分かれ、プログラム作成手順に従い、事業計画及び学習展開計画を作成。
- (2) 発表・全体講評
各グループのプログラムの発表。全体講評は安全管理及び学校等との連携推進に関する話。

にいがた連携公開講座2010 スタート

「にいがた連携公開講座2010」は、新潟県教育委員会と県内の大学や市町村などが連携、県民の皆様にとって身近で、地域ニーズに対応したテーマで開催する公開講座です。本年度は9講座を開催します。

	期 日	演 題	講 師	主：主会場 副：受信会場
1～3回は好評のうちに終了いたしました				
4	9/18 (土)	カッチャンはなぜ死んだか？ヒロシマ体験からの提言	敬和学園大学 特任教授 加納実紀代 様	主：燕市中央公民館
5	9/20 (月)	埋もれた歴史を探る 一糸魚川における最近の発掘調査 の成果一	県立歴史博物館 学芸課長 寺崎裕助 様	主：青海総合文化会館 きらら青海
6	9/26 (日)	上杉景勝の佐渡渡海・朝鮮渡海	県立歴史博物館 主任研究員 前嶋 敏様	主：県立歴史博物館
7	10/17 (日)	楽しく生きよう 笑っていこう ～豊かな自然を満喫して、いつでも・どこでも、楽しく歩こう！～	新潟医療福祉大学 講師 埴 佐敏 様	主：津南町文化センター
8	11/17 (水)	人名に見る時代の大転換① ～江戸から明治へ～	県立文書館 副館長 本井晴信 様	主：県立生涯学習推進センター 副：村上市教育情報センター
9	12/10 (金)	人名に見る時代の大転換② ～名づけに見る日本の歴史～	県立文書館 副館長 本井晴信 様	主：県立生涯学習推進センター 副：村上市教育情報センター 副：新発田市加治川地区公民館

各講座とも 開講時間13:30～15:00 受講料無料 申込み不要。いきいき県民カレッジの登録講座です。

新潟県視聴覚自作教材コンクール 審査結果発表！

5月31日（月）、当センターを会場に新潟県視聴覚自作教材コンクールを開催いたしました。応募作品6点、地域素材・身近な題材・教材としてのニーズや有効性など、どれもさすが自作教材ならではの魅力たっぷりの作品でした。特に、長岡市視聴覚センターから推薦された作品はすばらしく、最優秀賞「わたしたちのくらしと水」は、制作意図が明確で視覚効果の表現・技術に工夫がある作品でした。審査員満場一致で自作教材コンクール全国大会に推薦出品することとなりました。

なお、審査結果は以下の通りです。

作品をご覧になりたい方は、生涯学習推進センターまでご連絡ください。

＜学校教育部門＞

最優秀賞「わたしたちのくらしと水」（長岡市視聴覚センター・視聴覚教育研究協力員様）

優秀賞 「Pan ver2.5」（長岡市立宮内中学校 岡本世史治様）

奨励賞 「木版画にチャレンジ～アイデアスケッチから転写まで～」(長岡市立上組小学校 水谷徹平様)

// 「西中諏訪神社 春祭り」（三市南蒲地域視聴覚教育協議会様）

// 「ブルークからパラレルへ」（新潟県学校スキー研究会様）

＜社会教育部門＞

優秀賞 「新にいがた市紀行2009年度ビデオ作品」（新にいがた市紀行制作実行委員会）

自作教材は作るのに労力や時間はかかりますが、メリットもたくさんあります。

- ・地域素材や身近な素材を利用できるため具体的である。
- ・児童生徒の能力や特性に合わせられる。
- ・課題の与え方や学習の展開に工夫ができる。
- ・興味のあるものを題材に取り入れることができる。



当センターでは、自作教材作成の支援を行っておりますので簡単にご紹介します。

その①：メディア研修に参加してつくる。（研修時間は全て9:30～16:30）

その②：月末のDVD工房でつくる

ビデオ撮影・DVD作成	7/16（金）
プレゼン作成	7/20（火） 8/18（水） 10/14（木） 11/17（水） 12/2（木）
デジタルカメラ・画像加工	8/10（火） 9/10（金） 10/19（火）
ビデオ編集・DVD作成	8/20（金） 8/24（火） 9/28（火） 10/26（火） 11/24（水） 12/7（火） 12/14（火）

毎月月末2～3日間程度コンピュータ研修室をビデオDVD工房として一般の方々にも開放しております。メディア研修担当（早川）が常駐し、分からない操作方法についてだけでなく、効果的な教材づくりなどについてもアドバイスを行っています。

上記に限らず研修日以外でも、電話等での相談を承っております。また、生涯学習関係機関の方や教職員の方は、来館していただければビデオ編集・DVD作成も行えます。お気軽にご相談ください。

なお、今年度は2回目の自作教材コンクールを2月末に行います。（来年度以降は毎年2月に1回実施）もしお手持ちの教材がありましたら、この機会に是非出品していただけるよう、お待ちしております。

推進センター名画劇場

申込み不要 入場無料です

祝日シアター

7/19(月)「四万十川(しまんとがわ)」
会場は1階ホール 12:30開場 13:00~15:10

夏休み子どもアニメ劇場

7/27(火)「トントンあったと新潟の昔ばなし」
「地蔵じょうど」ほか
7/28(水)「トントンあったと新潟の昔ばなし」
「ぱっりよ ぱっりよ」ほか
7/29(木)「どんぐりと山猫」
「怪談~耳なし芳一~」
7/30(金)「トム・ソーヤーの冒険」
いずれも 会場は1階制作演習室
13:30開場 14:00上映開始

映画ビデオ鑑賞会

7/25(日)「ヒマラヤの赤い自転車」
8/22(日)「うしろの正面だあれ」
いずれも 会場は1階ホール
12:30開場 13:00上映開始

新潟県立青少年研修センター 9月主催事業の案内

越前浜チャレンジセミナー第3回 「環境教育指導者養成編」

日 時：平成22年9月11日(土)~12日(日)
1泊2日
場 所：新潟県立青少年研修センター
〒953-0012
新潟市西蒲区越前浜5597-1
内 容：環境教育における指導者を育成するため、佐潟とその周辺の自然環境を保護する取り組みを体験的に学ぶ。
定 員：30人
対 象：18歳以上の青年および青少年指導者等
(高校生を除く)
費 用：1人 2,300円(予定)
申込締切：平成22年8月27日(金)
申込方法：電話にてお申し込みください。
その他：内容の詳細については、必ず電話にてご確認ください。
問い合わせ：県立青少年研修センター
Tel 0256-77-2111

4年に1度のサッカーのワールドカップの開催により、多くの方々がテレビに釘付けとなって熱い時を過ごしているのではないかと思います。この大会中の総観戦者数は、世界中で250億人以上とされています。サッカーファンならずとも、世界のトップレベルの戦いには興奮と感動を覚え、また、才能と努力に裏打ちされたトップアスリートの見せるテクニックやファイトに、多くの人が胸熱くしているのではないかと思います。特に、日本の決勝トーナメント進出は、日本のサッカーファンの子もたちに夢や希望を与えてくれました。

さて、ワールドカップとVTRの映像とで **さわやかメール** を観戦していて、ライブは、当然のことながら、期待度や興奮度ははるかに違うことを感じました。南アフリカと日本とでは時差が7時間のために、特に決勝トーナメント進出の懸かった日本・デンマーク戦は睡眠不足になった方も多かったことと思います。衛星中継というメディアの発達により、結果だけでなくその場の臨場感や選手の思いを瞬時に伝える映像が送られてきます。メディアの発達による恩恵とその重要性をサッカー観戦を通して再確認した次第です。

●新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>
携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

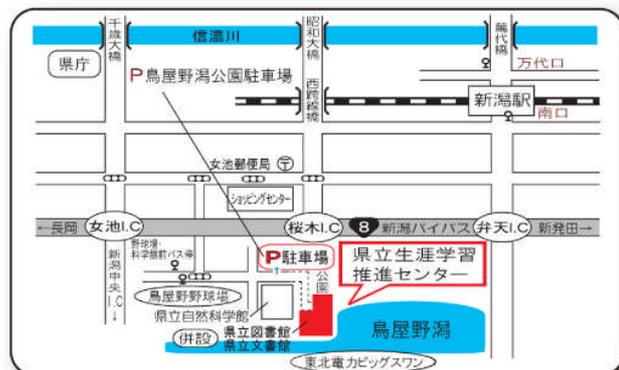


●家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

●生涯学習相談・情報提供「ちょっとおしえてコール」

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
(URL) <http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail) nlpc@mail.lalanet.gr.jp